

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期富谷市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県富谷市

3 地域再生計画の区域

宮城県富谷市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、昭和50年以降の大規模な宅地開発の進展によって大幅な増加傾向となり、令和2年の国勢調査では、昭和45年の約10倍の水準となる51,651人に達している。なお、住民基本台帳によると、令和7年12月末の人口は、52,485人となっている。一方で、国立社会保障・人口問題研究所によれば、本市の総人口は今後減少傾向に転じ、令和32年には46,867人になるものと推計されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、昭和60年の5,301人から平成27年の9,625人と増加を続けていたが、令和2年には8,491人と減少傾向に転じている一方で、老年人口（65歳以上）は昭和60年の1,043人から令和2年の11,144人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。

また、生産年齢人口（15～64歳）も昭和60年の11,709人から平成27年の32,749人と増加を続けていたが、令和2年には31,812人と減少傾向に転じている。

本市の自然動態をみると、出生数は平成21年の494人をピークに減少傾向にある。その一方で、死亡数は増加傾向にあり、これまで一貫して自然増で推移してきた自然動態は、令和2年には出生数288人、死亡数303人で15人の自然減に転じている。

社会動態についても、これまで一貫して社会増で推移してきたが、大規模な住

宅地の開発が完了したこともあり、平成 18 年以降は、社会増幅が縮小傾向で推移し、平成 29 年には転入者数 1,880 人、転出者数 1,912 人と 32 人の社会減に転じており、令和 2 年においても転入者数 1,775 人、転出者数 1,896 人と 121 人の社会減となっている。

10 代、20 代の若者の域外への流出に伴う生産年齢人口の減少や少子高齢化が進むことで、地域経済活動の低下や地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、新たな住宅地の整備や積極的な子育て施策の推進等を行い、自然増につなげる。また、企業誘致等による地域経済活性化と雇用創出施策等を推進し、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を基本目標に掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 住みよい暮らしと新たな雇用創出戦略
- ・基本目標 2 とみやの魅力創出と交流人口拡大戦略
- ・基本目標 3 市民力向上と人を呼び込む移住・定住促進戦略

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市民の定住意向の割合	84.7%	86%	基本目標 1
イ	年間の観光交流人口	206,771人	210,000人	基本目標 2
ウ	住民基本台帳人口	52,485人	52,900人	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期富谷市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 住みよい暮らしと新たな雇用創出事業
- イ とみやの魅力創出と交流人口拡大事業
- ウ 市民力向上と人を呼び込む移住・定住促進事業

② 事業の内容

ア 住みよい暮らしと新たな雇用創出事業

成田二期北工業用地への多様な企業の誘致事業、新たな雇用の創出や地域経済の活性化を図る事業、富谷市まちづくり産業交流プラザ・TOMI+（とみぷら）、富谷市ビジネスベース・NIYADO（荷宿）を拠点に、起業塾「富谷塾」による起業・創業支援事業、緑豊かな自然環境の保全や環境にやさしい生活を推進する事業、自然と調和のとれた成田二期東・西地区等の新たな住宅地の整備事業、大亀山森林公園の魅力向上と豊かな自然の環境整備事業、都市型自走式ロープウェイなど新たな軸となる基幹公共交通システムの整備検討事業

【具体的な事業】

- ・成田二期北工業用地への企業誘致
- ・「富谷塾」などによる起業・創業支援の充実
- ・市民主体による大亀山森林公園の魅力向上と豊かな自然の環境整備
- ・持続可能な公共交通サービスの構築 等

イ とみやの魅力創出と交流人口拡大事業

地域性を生かした新たな農産物への取組や、ブルーベリー・はちみつなどの特産品の生かしたスイーツ等の開発の支援事業、歴史を感じさせるしんまち地区の保全事業、富谷宿観光交流ステーション・とみやなどの充実事業、「スイーツのまち とみや」、発酵のまちづくりなど地域資源を生かした取組の推進事業、市内外へ富谷の魅力を発信するシティプロモーションを強化する事業、ユートミヤを学びと交流の拠点として、新たな人のつながりとにぎわいを生み出す事業

【具体的な事業】

- ・富谷宿観光交流ステーション・とみやどを中心としたしんまち地区の活性化
- ・特産品のブルーベリーやはちみつの積極的なプロモーションとブランド力の強化
- ・富谷市複合図書館・ユートミヤの利用促進 等

ウ 市民力向上と人を呼び込む移住・定住促進事業

切れ目のない子育てにやさしい支援事業、子どもにやさしいまちづくりの推進事業、教育環境の充実事業、東北医科薬科大学・富谷メディカルセンター（仮称）の早期立地による地域医療・救急医療の充実事業、UIJ ターン等による移住促進事業、高齢者や障がい者など誰もが生き生きと暮らせる地域づくり事業、防災対策の充実など安全安心なまちづくり事業、市民活動への支援や市民参加の多様な機会の提供事業、市民との協働や産官学の連携をはじめとする多様な主体による協働推進事業、学びあいの学習やICTの活用などの時代に即した学びの提供事業、家庭・地域・学校・行政が連携した学校づくり事業

【具体的な事業】

- ・切れ目のない子育てにやさしい支援
- ・教育環境の充実とグローバル・高度情報化時代の学びの推進
- ・官民・産官学連携による地域課題解決とまちづくりの推進 等

※なお、詳細は第3次富谷市地方創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000,000千円（令和8年度～12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで